

【理科】「個々の問題の出題の意図及びその正答率」

領域	問題番号			出題の意図	評価の観点			県の正答率	学校の正答率	
	大問	小問	通番		科学的思考	技能・表現	知識・理解			
生き物の一年	1	1	1	1年間のヘチマ(植物)の成長の過程を、季節と関係付けてとらえることができる。	○			97.4		
		2	2	ヘチマ(植物)が最も成長する時期を理解している。			○	65.4		
		3	3	アゲハチョウの成長の過程をふまえ、冬(季節)越しするアゲハチョウ(昆虫)の様子を理解している。			○	85.3		
		4	4	温度計の温度(数値)を正確に読み取ることができる。		○		90.6		
		5	5	温度計での正確な温度の測定の仕方が身に付いている。		○		87.0		
もののかさと力	2	1	6	閉じた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解している。			○	79.2		
		2	7	閉じた空気を圧すと、押し返す力は大きくなることを理解している。			○	85.9		
		3	8	生活の中で、空気や水の性質や特徴(圧した時の体積や押し返す力の変化)を利用している道具を理解している。			○	56.9		
電気のはたらき	3	1	9	乾電池の向きを変えると、回路に流れる電流の向きが変わり、モーターの回る向きが変わると考えることができる。	○			76.4		
		2	①	10	乾電池を直列につなぐと、モーターのまわる速さは乾電池1個の時より、速くなることを理解し、そのつなぎ方を図に表すことができる。		○		45.5	
			②	11	乾電池を並列につなぐと、モーターの回る速さは乾電池1個の時と、ほとんど変わらないことを理解し、そのつなぎ方を図に表すことができる。		○		50.6	
		3	12	乾電池を直列つなぎと並列つなぎの名称を理解している。			○	58.8		
金属、水、空気と温度	4	1	13	金属の熱の伝わり方の特徴を正しくとらえ、金属の熱せられたところから順に熱が伝わっていくことを図(矢印)を使って説明することができる。	○			86.3		
		2	14	水は金属のあたまり方とちがって、対流によってあためられ、熱源より上部はあたまって下部はあたまらないことを理解している。			○	44.0		
		3	15	水を入れた試験管を熱する実験を安全に行う技能や方法が身に付いている。		○		54.5		
		4	16	空気のあたまり方の特徴を生活に生かしていることを理解している。			○	69.6		
月・星の動き	5	1	17	時間の経過に伴う月の位置の変化を、観察した記録をもとにして説明することができる。	○			88.2		
		2	18	時間の経過に伴う月の位置の変化を、東の空に見られる月の動きに当てはめて考えることができる。	○			62.9		
		3	19	時間の経過に伴う星の位置の変化を、北の空でのカシオペア座の動きで考えることができる。	○			48.0		
		4	20	星の集まりは時刻によって並び方は変わらないが位置が、変化することを理解している。			○	82.9		
天気の様子	6	1	21	気温を測るときの注意事項を理解して、気温の測り方が身に付いている。		○		51.1		
		2	22	気温を測った結果をグラフで表すことができる。		○		70.1		
		3	23	2つのグラフを比較して、気温の変化の違いを言葉で表すことができる。		○		52.9		
		4	24	一日の気温の変化と天気と関係付けて考えることができる。	○			85.1		
人の体のつくりと運動	7	1	25	人の体のかたく感じる部分には骨があることを理解している。			○	67.9		
		2	26	骨と骨のつなぎ目を関節といい、関節でうでや足が曲がることを理解している。			○	70.1		
		3	27	うでの動きと、筋肉の伸縮を関係付けて考えることができる。	○			45.0		

